平成 22 年版

大船渡市の環境

―― 自然環境を守り・生かすまちづくり ――

第 24 号

大　船　渡　市

「恵まれた自然環境との調和による

豊かでうるおいのある市（まち）　大船渡」

を目指して

美しい山々と豊かな海に囲まれたまち、大船渡市。この市章は、大船渡市の「大」の字を波と山でデザイン化しました。海から、そして陸からも大きく発展するようにという願いをこめて表したものです。

PRINTED WITH SOY INK

この用紙は環境にやさしい古紙配合率 100%の再生紙と大豆油インキを使用しています。

R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用

は　じ　め　に

私たちのまち大船渡は、温暖な気候と美しく雄大な自然を生かしながら、環境と産業が調和した豊かな住みよいまちへと発展してきました。

本市の環境は、概ね良好に保たれていますが、私たちの豊かな暮らしを支える経済活動は、社会を飛躍的に進歩・発展させた反面、現在ではごみの増大や生活排水等による水質汚濁などの地域的問題をはじめ、地球温暖化の進行や海洋汚染、酸性雨などの地球規模の環境問題を顕在化させるに至っています。

今、私たちには、次の世代に深刻な影響が懸念されるこうした環境問題への対応が求められています。その解決には、「もったいない」という物を大切にする気持ちに立ち返り、資源のリサイクルやエネルギーの効率化、節約などの積極的かつ実効ある行動を実践して、環境への負担の少ない「低炭素社会」「循環型社会」の実現に向けて取り組んでいく必要があります。

こうしたことから、本市では、環境基本条例及び環境基本計画に基づき、長期的・総合的な観点から、環境の保全と創造のための各種施策や事業を進めて参ります。

また、環境への関心は日増しに高まっており、快適な環境づくりのためには、本紙等により、環境に係る情報を公開し、市民の皆様と情報を共有しながら、市民や事業者、行政が共通認識に立ち、一体的な取り組みを進めていくことが大切であります。

郷土の自然の恵みを守り育てながら、健全で豊かな環境を次の世代に継承していくため、市民の皆様方のご意見・ご提言に耳を傾けながら、本市ならではの環境づくりを進めて参りますので、今後とも関係各位のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

本書は、平成 20・21 年度における本市の環境の現況や施策などを取りまとめたものであり、環境との関わりをご理解いただくための一助となれば幸いです。

平成 23 年 3 月

大船渡市長　戸　田　公　明